

志井 博士  
才人 露の心

蘇州の遠近と廣く會見し、此の日本の社会事情及び  
社会運動の現況を露西亞の農務省の志井  
に知らしめ、其は社会主義者中、紳々たる人物  
の露西亞に行へる以上策として、東洋に於て  
第三のレーニヌの要する機關を構  
築する上を必要とするとして、労働運動  
者より一人、思想運動者より一人代表者を  
露西亞に任じ、其の島田新三、ヨシフ  
工場の令嬢の平より出でたり。

10月 日 特記

4

片山 潜  
志井 博士  
才人 露の心  
13.6.2

志井 博士

前より労働者当分の日本の有力なる社会主義者  
の露西亞行を熱望して、遂に大正十一年十一月高  
橋清、徳田球一等の入露の際も、此の事を談  
り、同十一年六月高橋の帰朝の時、片山潜より  
入露を希望したり、其は山川均、近藤榮造、高  
橋清、志井正造等と相談の上、荒畑寒村を指  
定し、高橋は此の報を齎らして、再び同十一年  
露西亞に向ひたり、荒畑寒村は實際運動の關係  
上月より回を去り、難き事情より、漸く同十二